

上海報告

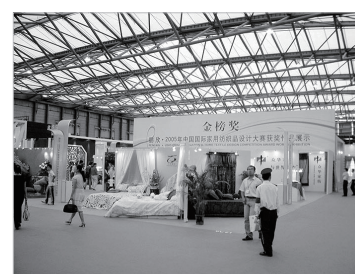
— 日本テキスタイルデザイン協会の上手な?利用法 —



上海に適期的にいくようになり2年余たちました、それというのも弟が蘇州に日本から来る企業のコンサルタント会社を設立し個人でも中国で商売が出来る土台があった為です。中国にデザインを売るには全て許可が必要で個人レベルでは全く不可能と言っていいでしょう。中国語でデザインの事を（設計）と言います、弟は工場を建てる許可を持っているので設計の許可も既に取得しておりました（ラッキーでした）。

然し乍ら最初は全く誰からも相手にされずアポイントひとつ取れないありさまでした、弟の言うには「中国と言う所は肩書きが重要で冗費のように何も無い名刺では相手にされないよ、何か無いの。」と言われ「日本テキスタイルデザイン協会の会員位かなあ。」と言うと「それは最高!」という言葉が帰ってきました。中国での（協会）は圧倒的は権威があり、日本で言えば省庁の様な役割を果たす所も（協会）と言うのだそうです。上海インテリア協会だけで2500社もの会社が入会しています。西日本理事会に出席し理事の方々より日本テキスタイルデザイン協会の名前を使ってよという許可を頂き中国の企業にアポイントを取ると嘘の様に経営者のトップと会える様になりました。中国では『日本テキスタイルデザイン協会』は（協会）の上（日本）と付いているので絶大な権限があるように思われるのです。現在、私は国の機関である上海紡織科学研究院と提携して商売を始めた所です。

上海近辺の建築ラッシュも尋常ではありません、国が土地計画を決める→街ごと壊して→長高層ビル群という手順ですから上海人も2年その場所に行かないと何処にいるの判らないと言います。現在建設中（破壊中）の上海万博会場地に住んでいた住民用に造られた住宅も見事なものです。見渡す限り同じ建物が延々と建築されています。これに伴いホームテキスタイル事情も絶好調のようです。8月23日から25日まで中国上海新国際博覧会中心で行われた「inter TEXTILE SHANHAI」を見てきました。去年も見たのですが展示会場全部ではなくトラクターの展示会と一緒に行われていました。今年は会場全部を使い去年の1.5倍の規模で現在世界第3位のホームテキスタイル展示会までになっています。一つ一つのブースも非常に大きく立派ものばかりでドイツのハイムテキスタイルよりも立派かもしれません。（中国らしく三日目に屋根が落ち



01



02



03



04

てきたブースもありましたが)

中国でこの2年の間に大きく変わった事があります。2年前は海外からの商品の関税は40%（商品によって異なる）余だったのに対し、現在では数%（商品によって異なる）まで下がってきた事です。好景気も手伝いそれまで商品を造る場所から売る場所に変わってきています。日本の企業も数社参加しておられましたが今後出展が増える事は間違いないでしょう。

今回「inter TEXTILE SHANHAI」の主催者「中国ホームテキスタイルデザイン協会」より「日本テキスタイルデザイン協会」に呼びかけがございました。「中国ホームテキスタイルデザイン協会」が主催する「中国国際ホームテキスタイルデザインコンクール」に日本からの出展を募るよう申し出がありました。主催者側と直接あって話を聞いてきたのですが「中国国際ホームテキスタイルデザインコンクール」は中国ではかなりの権威があるようです。中国国内の主だったメーカーは挙って参加しており入賞する事は荣誉とその会社の売りに大きく貢献するとの事でした。それというのも受賞作品は「inter TEXTILE SHANHAI」の中で展示ブースを貰い表彰される為直接ビジネスになるようです。（写真01、02参考）学生の入賞者は就職に有利で去年の入賞者の中にはいきなりデザイン室の室長として迎えられた学生もいたとお聞きました。問題は日本人の感覚で何がいいのか判らないものが多くあった事です、その点を指摘すると日本からの出品が多いようであればTDAから審査員を出してくれとの事でした。TDAより呼びかけをするかどうかはまだ判りませんが勝手に参加される事は自由だと思います。コンクールの表彰式にも招待されたのですが有名な歌手や演奏、ダンス、布団を身にまとったモデルのファッションショー等あり大イベントでした。（写真03、04参考）

(SHOWデザイン/上海紡織科学研究院 佐々木 尚)